

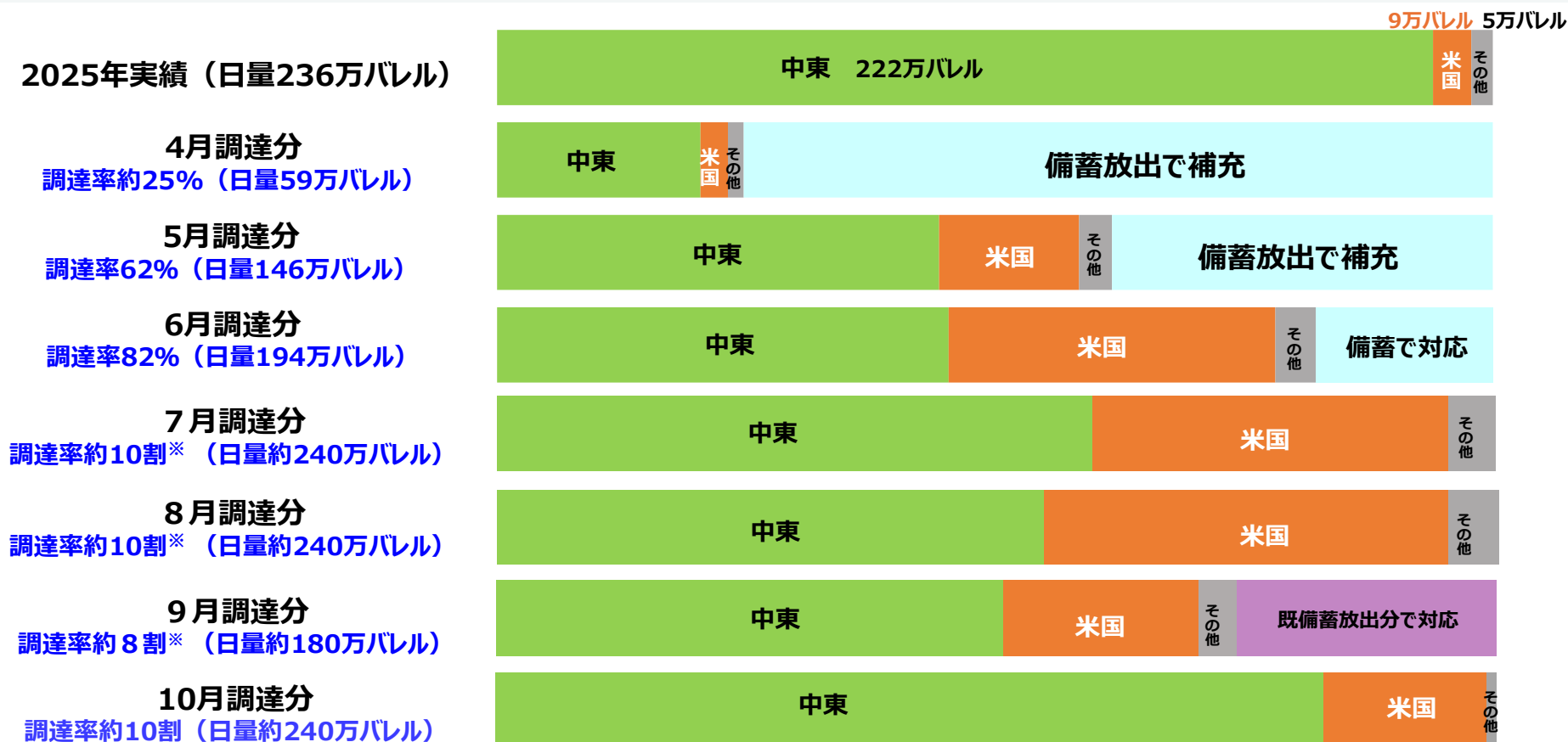
中東情勢への対応について

令和8年10月2日
農林水産省

我が国の原油調達の動向

中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース（第5回）資料

- ホルムズ海峡を経由しない代替調達について、官民連携のもと最大限取り組んでおり、中東や米国に加え、アジア太平洋、中南米、中央アジア、アフリカ、カナダ等からも原油が届くなど、原油の調達先の多角化が進展。
- **9月**については、バブ・エル・マンデブ海峡を通過して調達される予定だった原油タンカーがスエズ運河を経由するルート等に切り替えられたことで到着が遅れているが、**既備蓄放出分に対応することで前年平月比並の原油供給量を確保。**
- **10月**についても、スエズ経由のタンカーが到着する目途が立っていること等から、**再び前年平月比約10割の調達が実現できる見通し。**
- これを踏まえ、先月発表した通り、**10月についても国家備蓄放出の決定を行わない方針。**



※：9月の調達分には、7月及び8月に前年平月比を超えて調達した分を含む。

注1：4～8月の実績値は製油所に到達した原油量の総量であり、各種統計との誤差が生じることがある。

注2：9月30日時点。原油タンカーの配船・運航状況等により、遅れが生じれば日本着が後ろ倒しになるため、月ごとの調達量には変動が生じ得る。

注3：上記表示以外の詳細な国名やルートについては、民間企業の契約に関する事柄であることに加え、安全対策上の理由から非公表としている。

<ナフサ由来の化学製品の供給見通し>

- 足元では、国内でのナフサの精製、代替調達、川中の製品調達が安定的に継続。その結果、川中在庫については、取り崩しがなくなり、平時の水準（2か月分）に回復しており、ナフサ由来の化学製品の供給は安定的に推移している。

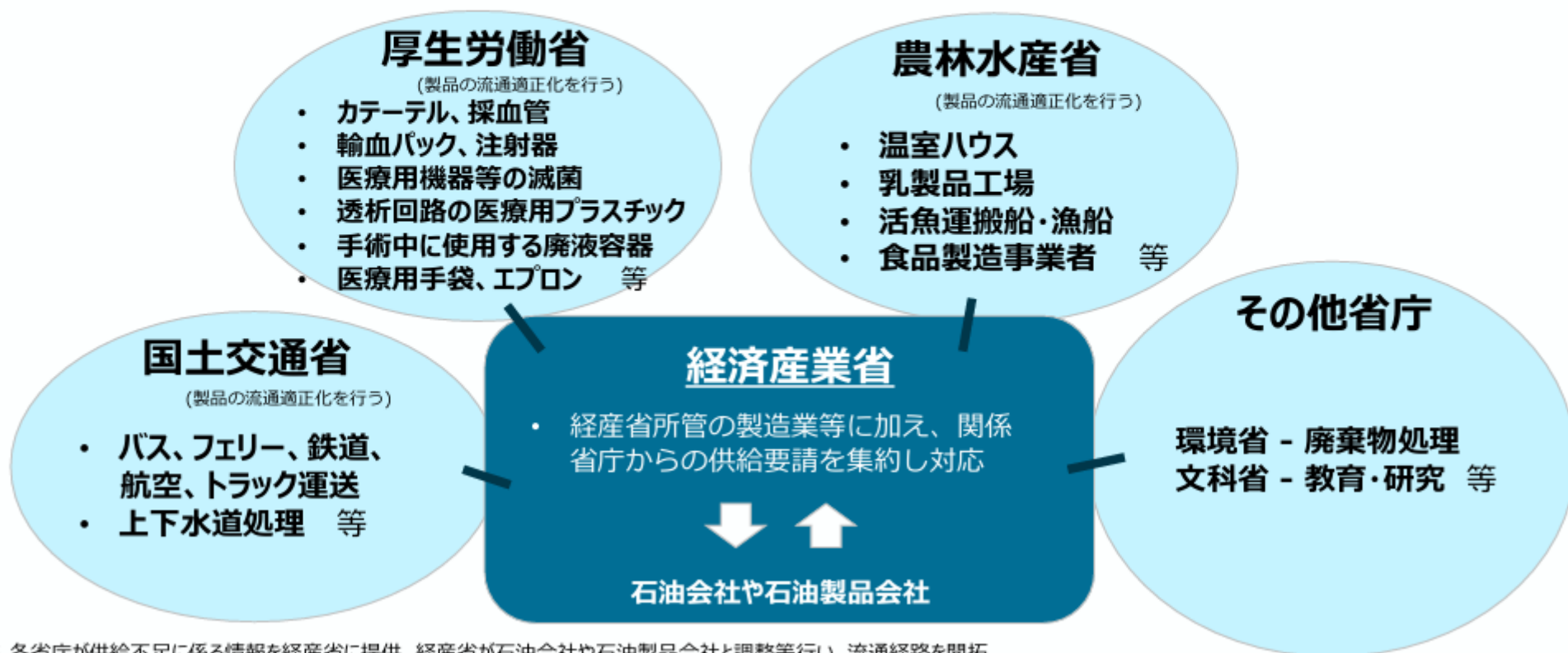
<ナフサ国際価格の推移>

- 2月27日（中東情勢発生前日）のナフサのスポット価格は588.28ドル/ t。
- 4月8日に1011.5ドル/ tまで上昇したが、足下9月24日時点では838.56ドル/ tで、2月27日比+42%。
- 史上最高値は、2008年7月の1,180ドル/ t、ウクライナ危機の最高値は2022年2月の1,078ドル。



供給支援に向けた関係省庁との体制構築

- 国民の皆様の命と暮らしを守るという観点から、高市総理の指示を踏まえ、工業のみならず農業、医療等に関係するものも含むサプライチェーン全体について対応方針を取りまとめる。
- 人命に関わるものを最優先に、ひとつひとつ迅速かつ丁寧に解決につなげていく。



石油の流通円滑化対策の強化

- 日本全体の石油供給は足りているが、流通段階で目詰まりが発生しているため、対策を一層強化

①政府の重要物資タスクフォースの要請に基づき、重要施設向けには元売から直接販売。

②元売から卸事業者向け販売は、系列・非系列にかかわらず、前年同月比同量を基本とするよう、大手元売事業者に要請。加えて、大手卸売事業者にも、これに準じた要請を実施。

石油の流通円滑化対策

①直接販売ルート新設

- 政府のタスクフォースが認めた重要施設（医療・交通・公共サービス・農業・水産業・畜産業・重要物資の製造業等）向けは元売が直売

石油元売

卸事業者

需要家



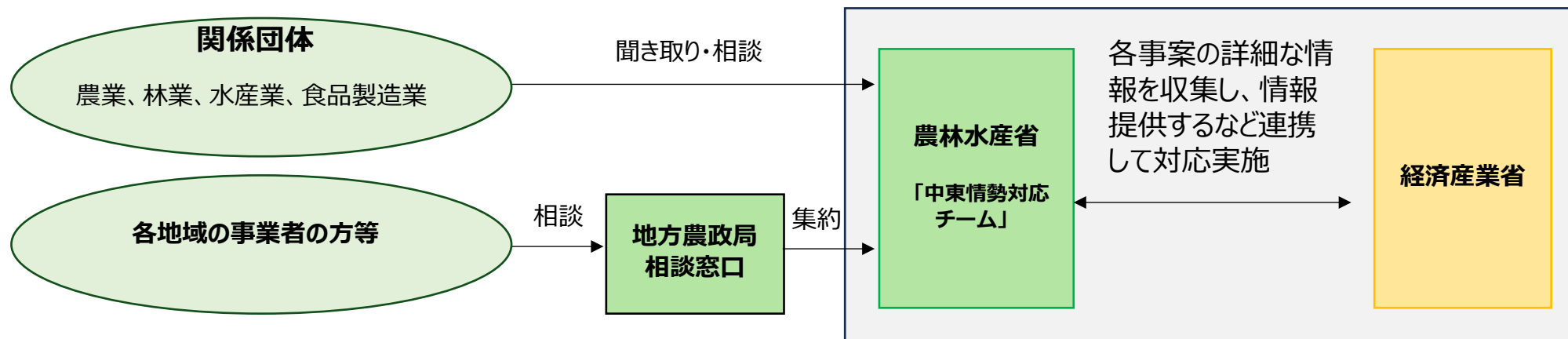
②流通段階の対策強化

- 前年同月比で同量の販売が基本

農林水産分野における体制の構築①

- 農林水産省においても、**相談窓口を設置**し、燃料油や石油製品等の安定確保への不安の声へ対応。
 - いただいたご相談については、経済産業省とも連携し、その原因や経緯を一つ一つ解きほぐしながら、円滑な供給が行われるよう適切に対応。
- 本省及び地方農政局に相談窓口を設置するとともに、関係団体、事業者から聞き取りや相談の受け付けを実施。
- 9月24日時点で4,338件(燃料油等：608件、石油製品等3,730件)のご相談・問い合わせをいただいているところ、経済産業省と連携して石油元売り事業者等に働きかけを行い、目詰まりの解消に向けて対応。

【情報収集と対応の流れ】



農林水産分野における体制の構築②

農林水産業・食品産業関係の生産・加工・流通業者の皆様へ

燃料油や石油製品等の供給に関する 相談窓口を設置しました

農林水産省では、燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口を設置しています。
中東情勢の影響により、燃料油や石油製品等の確保に不安がある場合は、
お早めにご相談ください。

生産・加工・流通現場における燃油確保等のご相談はこちら

大臣官房政策課食料安全保障室

メール: anposhitu_chutokankei@maff.go.jp



農林水産省

相談窓口連絡先一覧

令和8年4月23日現在 (別添)

業種	担当部署名	メールアドレス ※【★】を【@】に置き換えてください。
農業	農産局技術普及課	nousan_seisansizaikyokuyuu_gifuka★maff.go.jp
	北海道農政事務所生産経営産業部生産支援課	nousan_seisansizaikyokuyuu_hokkaido★maff.go.jp
	東北農政局生産部環境・技術課	seigika_tohoku★maff.go.jp
	関東農政局生産部環境・技術課	kantoseigi★maff.go.jp
	北陸農政局生産部環境・技術課	seigikan_hokuriku★maff.go.jp
	東海農政局生産部環境・技術課	seisannenyu_tokai★maff.go.jp
	近畿農政局生産部環境・技術課	kinki_shizai★maff.go.jp
	中国四国農政局生産部環境・技術課	chushi_nenyu★maff.go.jp
	九州農政局生産部環境・技術課	kyusyu-agri-gasoline-information★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局生産振興課	okinawa_seisan.v6g★ogb.cao.go.jp
畜産業	畜産局企画課 (畜産経営関係)	chikusan_soudan★maff.go.jp
	畜産局飼料課 (飼料製造関係)	feed-support★maff.go.jp
	畜産局牛乳乳製品課 (牛乳乳製品製造関係)	gyunyuu_sokatsu★maff.go.jp
	畜産局食肉鶏卵課 食肉流通班 (食肉処理施設関係、食肉加工メーカー関係、鶏卵・鶏肉関係、レンドリング施設関係)	shokuniku_soumuML★maff.go.jp
	北海道農政事務所生産支援課	rakuchiku_hn★maff.go.jp
	東北農政局畜産課	chikusan_tohoku★maff.go.jp
	関東農政局畜産課	tikusan_kanto★maff.go.jp
	北陸農政局畜産課	tikusan_hokuriku★maff.go.jp
	東海農政局畜産課	tokai_chikusan_info★maff.go.jp
	近畿農政局畜産課	kinki_chikusan_info★maff.go.jp
	中国四国農政局畜産課	tikusan_ka.chushi★maff.go.jp
	九州農政局畜産課	kyusyu_chikusan★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局生産振興課畜産振興室	okinawa_chikusan.v4f★ogb.cao.go.jp

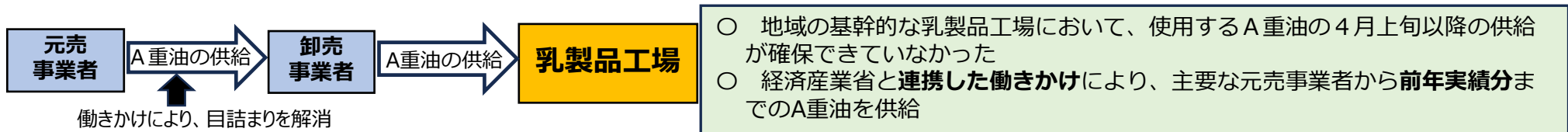
業種	担当部署名	メールアドレス ※【★】を【@】に置き換えてください。
林業・木材産業	林野庁林政課	rinya_rinsei★maff.go.jp
水産業	水産庁漁政加工流通課、資源管理部管理調整課・国際課、増殖推進部栽培養殖課	gyogyou_sekiyu★maff.go.jp
食品産業	大臣官房新事業・食品産業部食品製造課	seizou_info★maff.go.jp
	北海道農政事務所生産経営産業部事業支援課	hk_seizou_info★maff.go.jp
	東北農政局経営・事業支援部食品企業課	nenyusoudan_tohoku★maff.go.jp
	関東農政局経営・事業支援部食品企業課	foodindustry_kanto★maff.go.jp
	北陸農政局経営・事業支援部食品企業課	nenyusoudan_hokuriku★maff.go.jp
	東海農政局経営・事業支援部食品企業課	shokuhinnenyu_tokai★maff.go.jp
	近畿農政局経営・事業支援部食品企業課	kinkishokuhin_info★maff.go.jp
	中国四国農政局経営・事業支援部食品企業課	shokuhin_chushi★maff.go.jp
	九州農政局経営・事業支援部食品企業課	seizou_info_kyushu★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局農林水産部食料産業課	butsuryu_sodan_oki.k6h★ogb.cao.go.jp
その他	大臣官房政策課食料安全保障室	anposhitu_chutokankei★maff.go.jp
	北海道農政事務所企画調整室	hokkaido_kikaku★maff.go.jp
	東北農政局企画調整室	tohoku_kikaku★maff.go.jp
	関東農政局企画調整室	kanto_kikaku_web★maff.go.jp
	北陸農政局企画調整室	hokuriku.kikakutyousei★maff.go.jp
	東海農政局企画調整室	nenyu_tokai★maff.go.jp
	近畿農政局企画調整室	sekiyu_others_kinki★maff.go.jp
	中国四国農政局企画調整室	dm_chushi_kikaku★maff.go.jp
	九州農政局企画調整室	kyusyu-sonota-info★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局農政課	okinawanousei★maff.go.jp

燃料油等の流通の目詰まりに関する対応

目詰まりの解消事例

- ・ 農業関連団体で農作業に必要な軽油・灯油を確保（福井）
- ・ 乳製品工場（脱脂粉乳製造工場）、豆腐製造事業者、製麺工場、油脂や飼料・肥料原料の製造を行う工場での加工、養殖用の稚魚や畜産用の飼料工場に必要なA重油を確保（岩手、愛知、兵庫、奈良）
- ・ 漁船に使用する潤滑油を確保（福井）

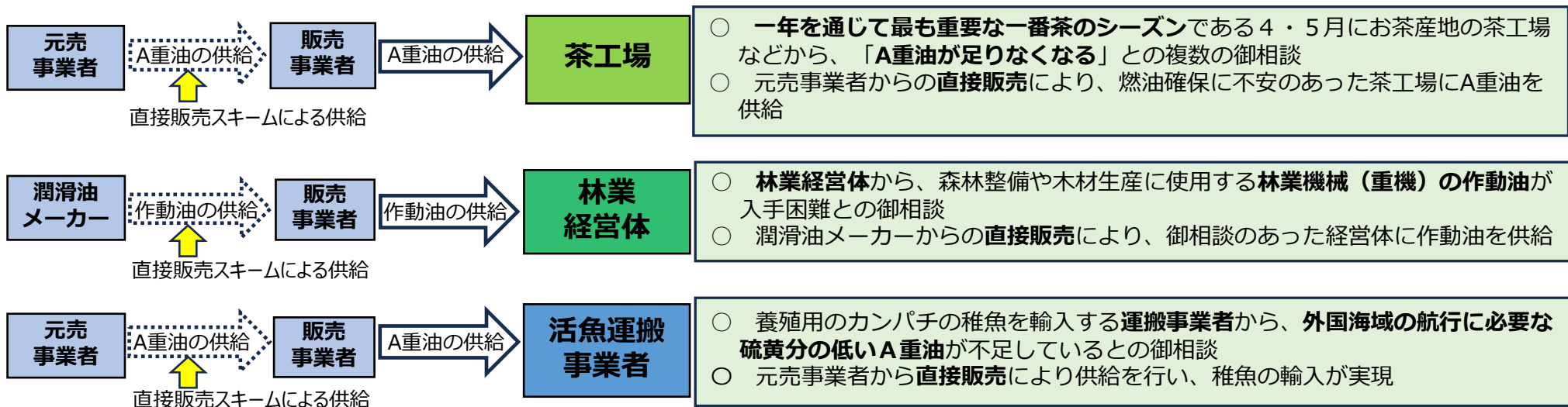
【目詰まり解消事例の流通フロー（乳製品工場への事例）】



（以下、直接販売スキームによる目詰まりの解消事例）

- ・ 農業機械、林業経営体の作業、集成材メーカーの作業、漁船、乳用牛飼養に使用する車両等に必要な潤滑油について、石油元売会社等からの直接販売を実施（岩手、富山、石川、兵庫、三重、愛媛、山口、長崎）
- ・ 茶製造、漁船の運行に必要なA重油について、石油元売会社からの直接販売を実施（静岡、三重、滋賀、和歌山、愛媛、鹿児島）

【直販スキームの流通フロー（茶工場、林業経営体、活魚運搬事業者への事例）】



石油製品等の流通の目詰まりに関する対応

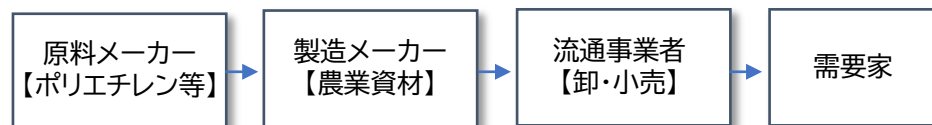
目詰まりの解消に向けた取組

- 農林水産業・食品産業のサプライチェーンの上流から下流に渡り利用されている多種多様な資材について、流通構造等の実態把握を実施し、6 1 調査項目について、全体として、供給に問題がないことを確認。
- 農業用マルチ等のプラスチック製農業資材や、石油由来の食品容器包装については、関係団体・事業者に対して、調達支障時の関係者との協議や、供給困難になる前の農林水産省への早めの相談、受発注の平準化などを要請。
(→詳細は次ページ)
- 実態把握を通じて得られた情報や相談窓口に寄せられた情報に基づき、経済産業省と連携して、供給の偏り・流通の目詰まりを解消。

目詰まりの解消事例等

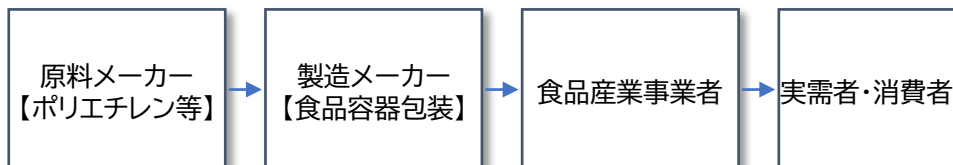
- ・豆腐製造事業者で豆腐を入れる容器を確保（宮城、新潟、愛知）
- ・調味料・酒類・乳製品製造業者で業務用液体容器を確保（北海道、京都、広島、愛媛、熊本）
- ・農業関連団体で農産物出荷用の包装・梱包資材を確保（北海道、福島、茨城、栃木、群馬、神奈川、愛知、滋賀、兵庫、島根、岡山、福岡、長崎、宮崎）
- ・菓子製造業者で菓子用包材を確保（高知、大分、鹿児島）
- ・インク溶剤・梱包資材・加工食品メーカーに包材用インク溶剤の継続的な供給が可能と確認（愛知、大阪、宮崎）

【プラ製農業資材の流通フロー】



- 「コメ袋」については、経済産業省の協力の下、原料メーカーからポリエチレンの安定的な供給が継続される見通し
- 「農業用マルチ」も、当面概ね前年実績の供給が可能であることを確認

【調味料の業務用容器の流通フロー】



- 調味料製造メーカーの業務用容器である、「BIB(Bag in Box)」の一部に供給の懸念があるとの情報を受け、関係事業者と供給状況等について情報交換を実施し、「BIB」について、業務用容器メーカーから当面の供給が可能であることを確認

農林水産省から事業者等への要請の状況

令和8年 9月29日時点

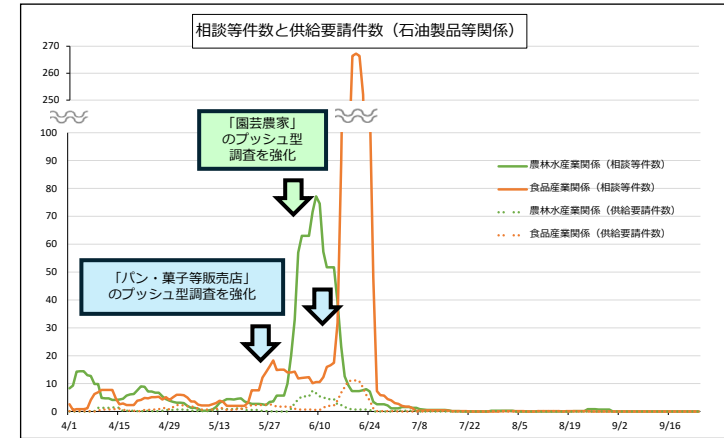
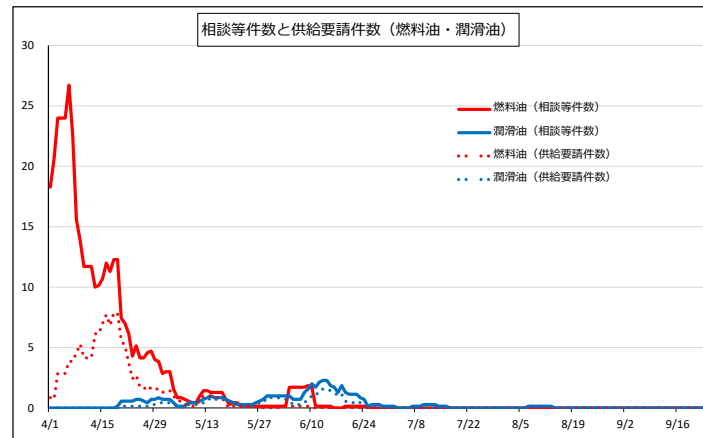
発出先・要請相手	品目	日付
木材産業関連団体（一般社団法人全国木材組合連合会、日本合板工業組合連合会等）	木製品に係る石油関連の原材料	4/15
農業用マルチ等プラスチック製農業資材製造事業者・流通事業者、生産者団体（全国農業協同組合連合会、一般社団法人全国農業協同組合中央会、公益社団法人日本農業法人協会）	農業用マルチ等プラスチック製農業資材	4/24
食品容器包装等製造事業者・流通事業者、食品産業関係団体（日本チェーンストア協会、一般社団法人日本パン工業会等）、水産関連団体（全国漁業協同組合連合会、一般社団法人大日本水産会等）	石油由来の食品容器包装等	4/30
農業機械関連団体（全国農業協同組合連合会、全国農業機械商業協同組合連合会、一般社団法人日本農業機械化協会）	潤滑油等	5/12
畜産業関連資材製造・流通事業者、畜産関連団体（公益社団法人中央畜産会、日本草地畜産種子協会等）	畜産業関連資材	5/20
林業・木材産業関連資材製造・流通事業者、林業・木材産業関連団体（全国森林組合連合会、一般社団法人全国木材組合連合会等）	林業・木材産業資材	5/20
畜産関連団体（公益社団法人中央畜産会、日本草地畜産種子協会等）、林業・木材産業関連団体（全国森林組合連合会、一般社団法人全国木材組合連合会等）	潤滑油等	5/20

- 燃料油やナフサ由来の石油製品等に関する相談等件数及び供給要請件数は9月に入ってからごく少数で推移。
- これまでに農林水産省に寄せられた供給要請については、全件の対応を完了。
- 引き続き、主要な資材について、主要な事業者からの定期的な聞き取りを実施するなど、継続的な現場実態の把握に努める。

1. 相談件数等の推移

- 7月以降、燃料油やナフサ由来の石油製品等については、相談等件数、供給要請件数ともに少数で推移。
- 9月に入ってから新たに寄せられた相談件数はごく少数（石油製品2件のみ）。
- これまでに寄せられた計346件の供給要請については、全件の対応を完了。

【相談等件数と供給要請件数の推移】



※ 相談等件数は、7日間移動平均の推移（件/日）（4/1 - 9/24（9/24までの件数を上記グラフに反映））
供給要請件数は、相談等件数のうち、具体的な物資について目詰まりの解消を求めるものの件数（将来の供給に関する懸念や情報提供等は含まない。）

【対応の状況】	相談等件数	4,338件
	うち供給要請件数	346件 （燃料油等 75件、石油製品 271件）
	うち対応完了件数	346件 （9月24日時点で全件の対応を完了）

2. 実態把握の取組

- 食品産業関係の業界団体・事業者と事務局（農林水産省・経済産業省）からなる食品容器包装等情報交換会をこれまでに4回開催。団体・事業者からは、春頃のような資材の逼迫は生じていないが、今後も継続的にナフサ等の供給情報を共有してほしい、などの声。
- 引き続き、農林水産業・食品産業で使用する主要な資材について、主だった事業者からの聞き取りを定期的実施するなど、継続的に現場実態の把握に努める。

農林水産業・食品産業関連資材の流通実態の把握について【R8.6.26】

令和8年6月26日
閣議後大臣会見で
公表

- ・ 農林水産業・食品産業で使用される資材について、流通構造等の実態把握を実施。
- ・ 以下の**6 1 調査項目**について、業界シェアで過半以上に相当する事業者からの聞き取り等により、**全体として、供給に問題がないことを確認。**
- ・ 資材供給に問題が生じる場合については、一つ一つ解決に取り組む。

業種	調査項目			
農業	【生産】 ・農業用マルチフィルム ・ハウス用ビニール ・茶用被覆資材 ・育苗トレー ・肥料袋 ・肥料 ・農薬	・サイレージ用ラップ ・飼料添加物 ・牛用個体識別耳標 ・人工授精関係資材（牛豚用） ・高分子凝集剤（家畜排せつ物処理用）	【流通】 ・コメ袋 ・パン袋 ・小麦粉袋（家庭用） ・野菜包装資材 ・カット野菜用包装資材 ・カットフルーツ用包装資材 ・茶用包装資材	・卵パック ・牛乳パック ・ヨーグルト用プラスチック容器 ・フレコンバッグ ・食肉包装フィルム ・包材（液卵・粉卵） ・エチレン（追熟等）
林業	【生産】 ・チェーンソーオイル ・きのこ菌床袋 ・きのこ種菌ボトル	・苗木コンテナ ・獣害防止用ネット ・くん蒸シート（森林病虫害対策用）	【流通】 ・接着剤 ・木材包装資材（結束バンド、包装用シート） ・きのこ包装資材	
水産業	【生産】 ・漁網 ・ロープ		【流通】 ・発泡スチロール箱 ・魚の保護用フィルム（パーチ）	
食品産業	【製造】 ・植物油製造関係資材（ヘキサン、苛性ソーダ） ・植物油検査溶剤（キシレン） ・食品分析関係資材（ヘリウム）	【流通】 ・食品トレー ・業務用ラップ ・豆腐容器 ・納豆容器 ・漬物容器 ・レトルト食品袋 ・カップ麺容器	・乾麺包装 ・植物油容器 ・醤油容器 ・味噌容器 ・調味料容器 ・砂糖袋（家庭用） ・菓子袋	・コーヒー容器 ・アルミ箔 ・冷凍食品袋 ・飲料ペットボトル ・弁当、惣菜の容器包装